

デジタル教科書構成案／地理的分野

第3部 第3章 第4節 中部地方

第4節の問い 中部地方における産業の発展に、自然環境や交通網の整備はどのような影響を与えているのだろうか。

評価規準例

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
さまざまな資料を活用し、中部地方の三つの地域の産業の特色と変化を読み取るとともに、それぞれの自然環境の特色から異なる産業が発達したことを理解している。	中部地方の三つの地域において、それぞれ異なる産業が発達・変化した背景について、多面的・多角的に考察し、表現している。	産業の視点からみた中部地方の特色について、自然環境の課題の克服に関する人々の工夫・努力に関心をもちながら、主体的に追究しようとしている。

展開例

項 目	学習課題	本時の目標	指導のポイント
1. 中部地方の 自然環境	日本の中央部に位置する中部地方では、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。	(1) 中部地方の山脈や、そこから流れる河川がつくる地形の特色を理解できる。 (2) 中部地方は地形や気候の特色から、東海・中央高地・北陸の三つの地域に区分されることを理解できる。	・日本アルプスの位置と主な河川の名称を確認させ、河川によって形成された地形の特色を理解させる。 ・中部地方の気候の特色を、東海・中央高地・北陸に分けて説明させる。 ・中央高地の降水量が東海や北陸よりも少ない理由を考察させる。
2. 中京工業地帯の 発展と 名古屋大都市圏	名古屋を中心とする地域では、どのようにして自動車などの輸送機械工業が盛んになったのだろうか。	(1) 中京工業地帯の発展の経緯や、現在の特色について理解できる。 (2) 名古屋大都市圏の広がり、交通網による他地域とのつながりについて理解できる。	・中京工業地帯で生産が盛んな工業製品を理解させる。 ・豊田市を中心とした地域で自動車工業が発展した理由を、産業の移り変わりや人々の工夫、周辺地域との結び付きに着目して主体的に追究させる。 ・名古屋大都市圏の形成について、中京工業地帯の位置と広がりや周辺地域とのつながりから理解させる。
3. 東海で発達する さまざまな産業	東海の産業は、自然環境や交通網などの条件を生かして、どのように発達してきたのだろうか。	(1) 水が得にくい渥美半島で施設園芸農業が盛んになった理由を考察できる。 (2) 静岡県では豊富な水資源や森林資源を生かした工業や、その技術を基にして発展した工業が盛んであることを理解できる。	・東海で栽培が盛んな農作物を理解させ、施設園芸農業が発展した理由を理解させる。 ・静岡県で楽器の生産や製紙業が発展した背景を、豊富な水資源や森林資源とその加工技術との関わりから説明させる。

4. 内陸にある 中央高地の産業 の移り変わり	内陸で山あいの環境にある中央高地では、時代の変化とともに、どのような産業が発展したのだろうか。	(1) 中央高地の自然環境を生かした農業の変化と、交通網の発達を関連させて理解できる。 (2) 諏訪湖周辺の工業の変化について、自然環境や歴史的な経緯、交通網の発達と関連付けて説明できる。	・地図帳を活用し、山梨県と長野県で生産が盛んな果物と野菜を調べさせる。 ・中央高地の産業の変化を、自然環境や歴史的な経緯、交通網の発達などと関連付けて説明させる。
5. 雪を生かした 北陸の産業	雪が多い北陸では、どのような産業が発達してきたのだろうか。	(1) 北陸では、雪どけ水を稲作や水力発電などに活用することで産業を発展させてきたことを理解できる。 (2) 地場産業が発達した理由を、自然環境の特色や技術の発展などと関連付けて説明できる。	・北陸の農業と地場産業の特色を、自然環境との関わりに着目させて理解させる。 ・北陸で地場産業が発達した理由を、地域の歴史的な背景や冬期間の副業と内職の技術、水力発電の電力などに着目させて説明させる。